

全国大会出場おめでとう



◆野球
兵庫県立淡路三原高等学校
マスターズ甲子園2025
(第22回大会) (11月8日)
9日・阪神甲子園球場) に出
場しました。



◆修斗・柔術
長手臣登さん
(トライテイサンズ・広田小4年)
長手さんは、第9回全日本
キッズ修斗選手権大会(8月
17日・神戸市)、SJJI-F
WORLD JIU-JIT
SUCHAMPIONSHIP
P 2025(9月20日・千葉
県)に出席し、いずれも優勝
の成績を收めました。



◆ソフトテニス
(左から)
平野陽大さん
(辰美小6年)
田浦潤人さん
(淡路ジニア・スクラブ)
平野さんと田浦さんは、J
OC・ジニアオリエンピックカッ
プ・第32回全日本ジュニアソ
フトテニス選手権大会(10月
18日～19日・広島県)に出場
しました。



児童の声を形にするワークショップ 旧倭文中学校の跡地に遊び場を

市では、令和3年度に閉校した旧倭文中学校の跡地を利用し、新たに屋内遊び場の整備を検討しています。この取り組みは、市民の皆さんと一緒に創り上げていくことを目指しており、そのために定期的なワークショップの開催を予定しています。

その一環として、10月14日に倭文小学校の6年生を対象にワークショップを開催しました。参加した10人の児童たちはまず、旧倭文中学校の跡地を実際に見学し、その後グループに分かれて意見交換を行いました。児童たちは自分の考えを活発に出し合い、互いの意見を聞いて発表するなど、積極的に取り組んでいました。

ワークショップは終始和やかな雰囲気で進み、子どもたちからは「トランポリンやアスレチックがあったら楽しい」「この施設を活用して、さまざまな体験イベントを開催してほしい」など、具体的で生き生きとしたアイデアが多く寄せられました。また、「みんなで協力して意見を出し合うのが楽しかった」「自分のアイデアを発表できてよかった」といった感想も聞かれました。

児童たちは、出し合った意見を11月30日に開催された第2回市民ワークショップにて発表しました。

今後も市と地域の皆さんと一緒に考えて、地域の声を大切にしながら、誰もが楽しめる屋内遊び場の実現に向けて取り組んでまいります。



慶野松原で自然を感じよう マツとキノコのフィールドワーク

11月8日、「マツとキノコ」をテーマに、秋の慶野松原を散策するイベントが開催され、親子連れを中心に49人が参加しました。

参加者たちは、日頃から松原の保全に尽力する「慶野松原根上がり隊」や森の博士とともに歩きながら、大切に手入れされてきた美しい松並木と、そこに自生する多彩なキノコについて学びました。

生徒たちに贈る、夢を育むメッセージ

「夢プロジェクト」開催

小中学生に夢を持って、豊かな生活を送れるように、著名な文化人やスポーツ選手らを講師として招く「夢プロジェクト」。

10月15日、広田中学校にボーカルグループ「クリーハイハーモニー」の4人が訪問しました。力強く感情豊かな美しいハーモニーで5曲を披露し、生徒らを魅了しました。

メンバーは、「30年間、変わらない仲間とともに活動してきました。友達や周りに支えられていることに感謝し、ぜひ夢に向かって努力してほしい」と生徒さんに呼びかけました。



第43回南あわじ市少年野球大会
★数字が順位。関係分のみ掲載。
(9月21日・阿万スポーツセンター)

第39回船越杯南あわじ市家庭婦人バレーボール大会
(9月28日・松帆小学校)
①ブルーマリン
②Copaain

第11回オータムカップペタンク大会
(10月26日・三原健康広場)
①ターザン(高川欣士・高川和江) ②三原えびすB(喜田篤實・榎本行市・上田龍司) ③三原えびすA(社家薰・社家賀子)

第32回兵庫県身体障害者グラウンドゴルフ大会
(10月21日・姫路みなどドーム)
個人の部 ①南あわじ市身体障害者福祉協会南淡支部
団体の部 ①南あわじ市身体障害者福祉協会南淡支部
市身体障害者福祉協会南淡支部
害者福祉協会南淡支部
個別の部 ①ターザン(高川欣士・高川和江) ②三原えびすB(喜田篤實・榎本行市・上田龍司) ③三原えびすA(社家薰・社家賀子)